

JAやまがた 7 2017

山形市・上山市
山辺町・中山町

広報誌 JAやまがた 2017/7月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8535 山形市赤松町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/



02 特集 JAの未来

酪農体験教室から導く 子供の命と心を育てる活動

04 農業情報

12 旬の料理 とうもろこしご飯と柴漬け



JAやまがた
公式
Facebook

みずみずしい食感とたっぷりの甘み
色鮮やかな夏の炊き込みご飯



とうもろこしご飯と柴漬け

●材料 (3人前)

【とうもろこしご飯】

お米…2合
生とうもろこし…1本
塩…1つまみ

【柴漬け】

キュウリ…1本、ナス…2本
ミョウガ…1本、大葉…2枚
赤梅酢…50cc
砂糖…大さじ1



1 【とうもろこしご飯】 お米は研いだ後吸水させ、ザルにあげておく。とうもろこしは皮とひげを取り、粒をばらす。

2 鍋の水に芯・ひげ・内側の皮数枚を入れ、塩を加えて火にかける。10分程度煮出し出汁400ml分をとる。冷めたら、とうもろこしと米に加えて炊く。



3 【柴漬け】 キュウリ・ナスは適度な大きさに切り、塩(分量外)をふり、塩もみする。しんなりしたらきつく絞る。

4 刻んだミョウガ・大葉を加え、砂糖を加えた赤梅酢をかける。重石をして冷暗所に2晩程度おくと味がしみる。

ワンポイントアドバイス

とうもろこしの芯・皮・ひげは捨てずに煮出します。旨味たっぷりの出汁を使うことで、とうもろこし感アップ。



伊藤伸也 / 「山形調理師専門学校」和食担当教員。/ 山形調理師専門学校は昭和46年開校。有能で人間性豊かな調理師の養成を目標に、プロをめざした実践活動をモットーとして学習をすすめています。
山形市六日町7-42。TEL.023-641-8345(代)

読書の
ススメ

新しい発見を
あなたに



はちみつスイーツ

若山曜子 著
定価(税込)1,512円

人気菓子研究家・若山曜子さんによるはちみつが主役のスイーツレシピ。そのままかけるだけの簡単アレンジから焼き菓子、ひんやり冷菓まで多彩。体にやさしくて自然な甘さが魅力のはちみつを存分に楽しめる。

購読申し込み
経済課 TEL.023-624-8567



次世代につなぐ 美しい農の風景
世界農業遺産

世界農業遺産BOOK編集制作委員会 著
定価(税込)2,160円

日本が世界に誇る農の風景、世界農業遺産の初のビジュアルブック。現在認定されている5つの地域の美しい景観写真と併せ、保全の取り組みを紹介。その他3つの国内の認定候補地や海外の世界農業遺産も掲載。



酪農体験教室から導く 子供の命と心を育てる活動

上山市永野地区にある山川牧場を経営する山川喜市さんは、(有)蔵王マウンテンファームの代表として子供の教育活動にも積極的に取り組んでおられます。牧場を「食といのち」を学ぶ教育ファームとして開放し、動物たちとのふれあい、搾乳や哺乳など酪農体験教育に尽力する山川さんにお話を伺いました。

牧場を「教育」「体験」「交流」の場にしたい



——教育ファームとして牧場を開放したきっかけを教えてください。
山川 昭和42年より酪農に従事していましたが、若い頃のスキー教室をきっかけに、学校や先生方と交流する機会が増えました。それを機に体験学習や、問題を抱える子供達を牧場で預かる取り組みを始めました。牧場を生産の場だけではなく、「教育」や「体験」、「交流」の場として活用したいと考えました。今では年間三千人以上の子供を体験学習で受け入れ、その他、県内外の学校へ出前授業に

行っています。

——体験学習で伝えたいことは、どういったことですか。

山川 健康の源は食、食の源は命、食物の前はすべて生きている命です。その命を支えているのが自然です。食べると健康な体と運動のエネルギーを育みます。食材や食べ物が食卓に上がるまでの経緯や苦労を知ることが、教育的効果を生む上で最も大切なところだと思います。それを知った上で「食」を食べると「こころ」が育まれると思うのです。



多くの人に恩返ししたい

——現在制作中とお聞きしている教育本「農の力が子どもの命と心を育てる、守る」はどんな想いで作られていますか。

山川 30年以上培ってきた「酪農」「教育」「成長」の経験を凝縮して作っています。体験学習を通して、多くの子供達が変わっていく瞬間を目のあたりにしてきました。

この経験をより多くの人に届けたい、直接体験できない子供達の教育に生かすことができないかと考えました。教育関係各所にお送りし、先生の学びに生かし、授業に使ってほしいと思っています。これまで多くの方に支えられ、子供達に体験教育をさせていた中で、逆に多くの学びとエネルギーをいただきました。今度はその恩返しとして、多くの方にこの本をお届けし還元したいと思っています。



わんぱくあぐりスクールでも過去に酪農体験させていただき、人気の授業です。今年も楽しみです。



牧場には、家族連れや友達同士、たくさんの方が訪れ、動物たちと触れ合っています。

食にはすべて命がある

——確かに、今の子供達はスーパーできれいに並べられている食材しか見る機会がないかもしれませんね。

山川 収穫された農作物は、食として私達の喜びとなり、命として消えていきます。収穫された方としては、命を絶たれる悲しい物語があります。体験学習での学びは食の裏側にある悲しみ、哀れみ、寂しさ、残酷さを

『いただきます』の意味を知りました

——体験学習に参加された子供達の反応はいかがですか。

山川 体験を通した子供達の変化は目を見張るものがあり、終了時には、生徒全員からお礼や感動、共鳴の想いが込められた手紙をもらうことも多いです。子供達は「いのち」や「食」の重みを受け止め、変化した気持ち

このように語ってくれます。
「いただきます」の意味を初めて知った気がする」
「これからは生き物の命を大切にしたい、食べ物を残さないようにしたい」
「今まで生きていたということを考えながら食事したいと思います」
子供達の声、先生方からの成果報告が私のエネルギーになります。
——子供達にはどのように成長してほしいですか。
山川 私は「いのち」、「こころ」を育てて、強く、優しく、賢い、総合力のある人を育てる手助けをしたいと思っています。「農」と「食」の持つ力を活用して、希望ある未来へ導き、子供達自身の力で問題解決と新たな課題への挑戦と探求が出来る人に成長してほしいと思っています。

牛乳の日

2001年、国際食糧農業機関 (FAO) は、牛乳に対する関心を高め酪農・乳業の仕事をする人々に知ってもらうことを目的に、6月1日を「世界牛乳の日」と決めました。これに合わせて日本でも毎年6月1日を「牛乳の日」とし、6月を「牛乳月間」として牛乳・乳製品の理解を深める活動を行っています。

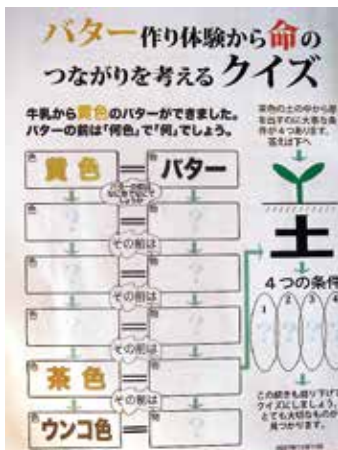


『父の日は乳の日』
6月18日に行われたイベントでは、牧場を中心にたくさんの人が集い楽しんでいました。

- ・バター作り体験・牧場ライブ
- ・お父さんへプレゼント「ペコの愛す(アイス)」



蔵王マウンテンファーム山川牧場
バター作りや、子牛にミルクを飲ませたり、乳搾りといった牧場体験ができます。牧場では、営業犬の「ウシエ」がご挨拶に走り回り、やぎの「ヤスコ」もみんなの人気者です。ログハウスの喫茶コーナーでは、ピザなどの食事や県内産牛乳で作った、ソフトクリーム、チーズケーキ、村山農産加工品評会最高賞を受賞した「ペコの愛す」、第一回山形県農産加工大賞の「クリームヨーグルト」などが販売されています。



バター作り体験をきっかけにしてより多くの学びにつなげます。

JA貯金 産直GOGOキャンペーン

2017年 8月15日(火)まで

合併20周年記念 大感謝キャンペーン金利

100万以上を新規お預け入れて

1年もの **0.15%** (税引後 年0.119%)

500万以上を新規お預け入れて

1年もの **0.18%** (税引後 年0.143%)

■お申込みいただけるのはJAやまがた正組合員・正組合員家族、准組合員・准組合員家族の個人のお客様です。■ATMでのお預入れは対象外になります。
■特別金利は初回満期時まで適用されます。

お問い合わせ 各支店または本店貯金業務課まで
金融部 貯金業務課 TEL.023-624-8268

JA産直で使える
**レインボー商品券
3,000円分が
1,500名様に当たる!!**
先着順で
フロストボーチ
プレゼント!!
さらに

☆本人もしくは同居家族が、年金受取・給与振込・JAカード・ネットバンク・公共料金決済。お借入のいずれかのお取引、サービスのご利用がある方に、契約額10万につき一つの抽選番号を付与いたします。



各支店の窓口が夏仕様に！
工夫を凝らしたディスプレイを、
ぜひ見に来て下さい。



理事会だより

今回の報告・協議された項目から
抜粋して掲載しています。

第6回理事会(5月29日開催) 内容より

●報告事項

- ・組合員(出資金)加入調書
- ・旧南金井支店および旧本沢支店の解体工事
- ・平成29年度相談業務課事業経過報告
- ・青果物販売状況
- ・JAやまがた野菜ハウス団地(案)
- ・JAやまがた地域農業振興計画の取り組み

●協議事項

- ・高額・員外貸出金
- ・個人情報保護に関する規程類の改定
- ・固定資産の処分
- ・役員賠償責任保険の継続加入
- ・第21回通常総代会の開催日

信頼に応えるには

「農業者の所得増大」「地域の活性化」「自主自立の経営の確立」、この三つの柱を実現していくためには、今を知り、過去を学び、変化、環境に気が付くことが必要だと思います。今、変わっていくもの、変えていくもの。

農産物販売の市場は大規模小売店、安心な直売所、通信販売(ネット販売)の取り扱い物量の割合が大きく変貌。そして、情報、広告、イメージの発信媒体が20年前との違いを感じます。

農産物(物資全部)物流は大きく変化しています。現在JA集荷場の物流はトラックが主体で直売所へも車両がほとんどですが、昨年、経済ニュースでJR貨物鉄道事業が会社発足後、初めて黒字になる見込みという記事を目にしました。これは、物流業界が変化した情報と感じ、農業新聞、YouTubeなどで注目してきたところ、JA全農長崎では出荷物の物流を貨物列車に切り替えるという情報を見つけました。

農協改革、自己改革に必要なのは、変化に相応し、気が付く、そして協同組合の原点、基本理念を柱に、地域社会に貢献できるように努力していきます。



DIRECTOR'S OPINION 2017
役員より VOL.28

理事 木村 純一

情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法第35条の5および農協法施行規則第81条に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話又は封書にて、右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

山形農業協同組合 監事会

住 所 山形市旅籠町一丁目12番35号
電話番号 **023-624-8554**
(受付：月～金、9時～17時)
部 署 名 内部監査室(監事会事務局)
受付監事 常勤監事 田中 高治 宛

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねます。

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、各支店・センターにご相談をお願いいたします。各業務に関するご相談は、本店でもお受けしております。



JA-SSで
パイナップル
キャンペーン!!

15日給油の方に パイナップル プレゼント!

数量
限定

8月

4日(金)、5日(土)、6日(日)

- あぐりん西公園SS
- あぐりんえまたSS

8月

8日(火)、9日(水)、10日(木)

- あぐりんランド348
- あぐりんランドなかがわ
- あぐりんランドさがみ

詳細はJA-SS各店へ
お問い合わせください。

お問い合わせ
(株)ジェイエイ
あぐりんやまがた本社
TEL.023-641-9898

国が支える。安心が大きくなる。 農業者年金のご案内

農業者年金は、国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。*

※農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(付加保険料月額400円)への加入も必要となります。

農業者年金のメリット

1. 少子高齢化時代に強い積立方式の年金です

自ら納めた保険料とその運用益(付利)を年金の原資として積み立てていき、この年金原資の額に応じて将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」の年金です。

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ(月額2万～6万7千円までの間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

2. 終身年金で80歳までの保証付きです

農業者年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

相談、お問い合わせ
各支店または本店貯金業務課まで
金融部 貯金業務課 TEL.023-624-8268

サクランボ贈呈 天神果樹組合



おいしい
農産物をどうぞ
各地の食育活動を
紹介します

サクランボ贈呈 南金井運営協力委員会、桜桃部会、農政対策委員会、農事実行組合長会



キュウリ贈呈 5月29日 中玉トマト贈呈 6月28日 飯塚そ菜園芸組合



農作物盗難を未然に防ごう 各地でパトロールを実施

5月30日、中央営農センターで農作物盗難防止広報車出発式が開かれ、生産者や山形警察署員、JA職員ら約80名が参加し、防犯意識を高めました。板垣平治郎組合長は「盗難防止対策を徹底し、組合員、行政、JAが連絡を密にして農作物の盗難を未然に防ごう」と呼び掛けました。

天神果樹組合は旬を迎えているサクランボの盗難を防ぐため、6月14日に大郷地区、15日に出羽地区、19日に明治地区を夜間パトロールしました。途中、車を降りて園地の中を懐中電灯で照らしながら、不審な人影や車両がないかを確認しました。



「石ころ会」小学生へ田植え指導 70馬力 VS 小学生71名

若手農家13名がつくる「石ころ会」は6月5日、中山町の田んぼで、中山町立長崎小学校の5年生71名に田植え指導をしました。児童の皆さんは田んぼの慣れない感覚に足をとられつつも初めて田植え体験し「お米作りの苦勞さを実感した」と話していました。

その後、会員のトラクターと児童との綱引きが行われ、26、41、70馬力のトラクターに綱をつなぎ児童たちは力いっぱい綱を引っ張りました。

会長の細谷善一さんは「秋には美味しいお米ができるので楽しみにしてください」と呼び掛けました。



JA世田谷目黒の職員2名が 安孫子貞代さん宅に住み込みで農業体験

JA世田谷目黒の資産サポート部資産サポート課の小濱航係長と金融部渉外課の荒井秀昭主任が6月12日から5日間、組合員の安孫子貞代さんのもとで農業研修を行いました。

2名はJAの選果場やカントリーエレベータを見学した後、安孫子さんの家に泊まりながら、桃、スモモの摘果作業や野菜畑の除草作業を体験しました。

小濱さんは「山形の畑の規模が広く驚きました。5日間の農作業は人生初でした。良い経験ができました。」

荒井さんは「東京ではできない貴重な体験ができ、充実した5日間を過ごせました」と話していました。



上山明新館高校で交通安全教室 事故を再現し安全意識を喚起

6月1日、上山市の山形県立上山明新館高校の全校生徒786名を対象に自転車の交通安全教室を開催しました。同校は約7割の生徒が自転車を使って通学しています。

教室はJA共済の交通事故防止への取り組みの一環で、自転車の活用が多い中学生・高校生を対象に行われています。

プロのスタントマンが時速40キロの車と自転車の衝突、自転車と歩行者の衝突、大型トラックの巻き込み、さまざまなケースを迫力ある実演で再現され、生徒の皆さんは交通事故の怖さを実感すると共に、交通安全の大切さを学びました。



消費者交流事業「みそ作り体験」

5月13日山形市農業振興公社にて、天然醸造の手作り味噌を山形産の大豆、米、塩で作りました。

体いっぱい使って大豆を潰します



こうじが多いと、甘い味噌が出来る、減塩、早く味噌が出来るというメリットがあります。甘くて優しい味の味噌を作りましょう!

講師 新聞さとみさん

桶を使って米こうじ、塩、大豆を混合します



桶に詰めて、仕込み完成



こうじ菌が発酵しやすい良い環境をつくってあげましょう。こうじ菌は生きています。「美味しくなれ、美味しくなれ」と気持ちを込めて作ると、さらに良い味噌が出来ますよ。

おいしさ直売所
生産者協議会
会長 原田義博さん



おいしさ直売所 7月の予定

■南館店 TEL.023-645-5001

7月17日／海の日イベント
7月21日・22日／リニューアル1周年イベント

■鈴川店 TEL.023-631-2588

7月17日／海の日イベント
7月20日／山形ふれあいマーケット即売会
(仙台勾当台公園にて)

■紅の蔵店 TEL.023-616-8001

7月21日・22日／7周年イベント
※都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせは、おいしさ直売所各店へ

さくらんぼが旬を迎えています



5月26日

【広域さくらんぼ部会】 さくらんぼ出荷協議会

市場関係者や生産者らが、生食、加工用合わせた、さくらんぼの販売高9億2,950万円の必達を誓い合いました。



6月6日

【西部果樹組合桜桃部】 収穫安全祈願祭・ 着色管理講習会

西部集荷場で収穫安全祈願祭を開き、その後、さくらんぼ園地にて管理講習会を行いました。新梢管理や葉摘みのポイントを学びました。



6月9日

県新規採用職員 さくらんぼ作業研修

山形市の生産者11戸に30名、上山市の生産者4戸に20名の県新規採用職員の研修生を受入れました。



6月13日

【南部営農センター・ 上山市果樹部会さくらんぼ部】 さくらんぼ盗難防止広報車 出発式・目ざろえ会

生産者や上山警察署員ら約100名が参加し、盗難防止広報車出発式を開きました。その後、さくらんぼ目ざろえ会を開き、出荷に使う容器や規格を確認しました。



6月15日～16日

「さくらんぼのお手伝いがしたい」と鹿児島県在住の松木優香さんよりJAに問い合わせがあり、東海林弘雄さんの園地で葉摘み、収穫作業をされました。



6月17日～18日

第6回 日本一さくらんぼ祭り

JAやまがたのブースでは、贈答用のさくらんぼ、さくらんぼサイダーなどが販売されました。

はれやか！ 女性部

女性部 本沢支部「料理教室」

6月23日、約20名が参加して、支部長の山口芳江さんより、ゆべしと笹巻きの作り方を学びました。

ゆべし作り



笹巻き作り



支部長 山口芳江さん

昔はゆべし、笹巻き、柏餅は手作りのものを食べるのが当たり前でしたが、今は買って食べることが多くなりました。ぜひ、家でも作ってください。



【ゆべし】

■材料(40個分)

上新粉(米粉) ……500g
ざらめ ……250g
しょうゆ(生醤油) ……90ml
水 ……540ml
くるみ ……20g
笹の葉 ……20枚

■作り方

- 鍋にざらめ、しょうゆ、水を入れて煮溶かし、50ml(丸める時に手つける・蒸す前に表面に塗る用)取り分けておく。
- 残りの①が煮立ったところに上新粉を少しずつ加え、へらでかき混ぜて火を止める。
- ポリ袋を広げ、②をのせて、空気を入れながらよくこね、2時間位寝かせる。
- ③を40等分にし、丸めて形を整え、くるみをのせる。
- 蒸気の上った蒸し器にクッキングシートを敷き、15分位強火で蒸し、笹の葉にのせる。



お問い合わせ

営農経済部 経済課
TEL.023-624-8567

最高糖度
28度!



6月22日

山形県さくらんぼ「佐藤錦」品評会

61点が出品され、1パック詰めの部で当JAの黒田実さんが優秀賞(山形県園芸研究会全国協議会長賞)と最高糖度賞(28度)を、鈴木章さんが努力賞を受賞しました。

写真提供:JA全農山形



読者の広場

7月号のテーマ

好きな花



●ピンクのネモフィラです。姑が生前植えたもので、風にふわふわ揺らぐ姿がとっても可憐♥丈夫で育てやすいのも◎です。(山形市 Tさん)

■写真ありがとうございます。ピンクのネモフィラは初めて見ました。とっても可愛いですね!国営ひたち海浜公園の水色のネモフィラがテレビで放送されて有名になりましたよね。花言葉は「どこでも成功」「可憐」

●毎年、ひまわりの花を咲かせています。今年のひまわりは大きくなるかなあ。あの黄色を見ると元気が出ます!(山形市 Tさん)

■夏生まれだからでしょうか、私もひまわりが大好きです!花言葉は「熱愛」「情熱」

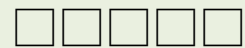
●オクラの花、鑑賞用としてももちろん、食用で花も実になっても美味しいいただけるなんてすごいいいと思いますか。最後まで楽しませてくれる花なんて、めったにありませんよね。(山形市 Sさん)

■今まで意識して見た時がなかったので、調べてみました。咲き始めは白めで、だんだんクリーム色になるみたいですね。野菜の花に注目するのも楽しいですね!花言葉は「恋の病」

息抜き

クロスワード

あみがけの■部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



クロスワード/イラスト/TAKAHASHI's HOME PAGE
http://crossword.sakura.ne.jp/

→ヨコのカギ

- 1 年に一度だけ、彗星と会えます。
- 4 勉強はここで。
- 6 凹の反対は?
- 7 海沿いに広がる…。
- 8 荷物を縛ります。
- 9 腹が立つ…。

↓タテのカギ

- 1 海獣の一種です。
- 2 物事の筋道です。
- 3 天候不順に強い穀物です。
- 5 背の高い大きな花です。
- 7 下駄や草履に付いています。
- 8 ○○あることは三度ある。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

●応募方法/「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

●締切/7月25日(火)(当日消印有効)

●プレゼント/「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下された方の中から抽選で3名の方に「おおいさ直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

6月号のクロスワード答え: あじさい



わんぱく まっす!

第2回/6月17日

- ・わんぱく畑の観察
- ・やまや園でさくらんぼ狩り
- ・中央営農センターのトマト選果場、米倉庫の見学

前より大きくなったね。



赤くて美味しそう♪



☆オレンジチーム☆



やまや園の佐藤辰弥オーナーにたくさん質問しました。



トマトがどんとどんと流れてくる!



冷蔵庫、寒いよ。



米30キロ重!

福祉センター青田 健康 コラム

vol.37

6月の通所介護



ラベンダー祭り



消火訓練



畑教室



JA共済連様より協賛していただき、ブルーベリー 10本届きました。収穫が楽しみです。

熱中症予防と対策

今年は5月ごろから暑い日が続き、県内でも熱中症患者が急増したというニュースも流れました。熱中症は、いつでも誰でも老若男女が条件次第でかかってしまう危険性があります。

●正しい予防法を知り予防しましょう。

対策1 シーズンを通して暑さに負けない体づくりを続けよう

気温が上がる初夏から、日常的に適度な運動を行い、十分な睡眠をとり、適切な食事を摂ることが大切です。例: 水分をこまめにとる・塩分も程よくとる・眠る環境を整える

対策2 日々の生活の中で暑さに対する工夫をしよう

暑さというのは、生活の中の工夫や心がけで和らげることが出来ます。例: 気温と湿度を気にする・室内を涼しく保つ・衣服を調節してみる

対策3 注意が必要な場所での暑さから身を守る

空調設備の整っていない場所や、炎天下での作業では熱中症の危険から身を守る行動をとることが重要です。例: 飲み物を持ち歩く・休憩はこまめにとる

これらの事を意識して、今年も健やかな夏の暮らしを心掛けましょう。

お問い合わせ

福祉センター青田 TEL.023-616-8002
介護サービス事業/通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

資産サポート ナビ

Support navigation VOL.25

開発許可制度に関するお知らせ

「山形市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」が、平成29年6月1日から改正になりました。

条例改正の背景

山形市では、市街化調整区域内で行う建築行為を制限しています。特に、住宅については、原則として農業従事者やいわゆる地縁・血縁者の住宅建築しか認めてきませんでした。このたび、「山形市都市計画法第34条第11号の規定に基づく土地の区域の指定等に関する条例」の全部を改正し、市街化調整区域の集落内に点在する空き家や空き地を有効活用しながら、新たな移住・定住の促進や二地域住居を誘導し、誰もが暮らせる集落を形成しようとするものです。

お問い合わせ 資産サポート部 TEL.023-624-8260

あとがき

8ページに掲載しています松木優香さん。鹿児島から遠く山形にいらしゃった、きっかけを伺いましたら、「さくらんぼが大好きだからです!」と可愛い笑顔で答えてくれました。高価なもので、年に1回だけ山形のさくらんぼを食べていて、本場山形でどのように生産されているのかを見

て、お手伝いしたいと、ずっと夢見ていたそうです。実際さくらんぼが成っている木を見て大変喜んで、お手伝いをされていました。松木さんの行動力に感激したと同時に山形に行きたいと思わせる、さくらんぼの魅力と生産者の努力に改めて凄いなと感じました。